

令和4年度 指定管理者モニタリング年度評価シート

[山形市銅町デイサービスセンター]

施設概要			
施設名(所在地)	山形市銅町デイサービスセンター (山形市銅町二丁目19番40号)		
施設目的	入浴、食事などの日常生活上の支援や、機能訓練などの生活行為向上の支援を図るための各種サービスを通じていただいた利用者に提供する介護施設。		
指定管理者(選定方法)	社会福祉法人 山形市社会福祉事業団(選定方法:非公募)		
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
指定管理者が行う業務	1 介護保険法に規定する通所介護及び第一号通所事業に関すること 2 老人福祉法における措置に係る者を通所させること 3 利用者の安全確保に関すること 4 地域との交流事業に関すること 等		
利用料金制導入の有無	有		
施設所管課	福祉推進部長寿支援課		
評価区分	評価項目	評価ポイント	評価
管理運営の状況	人員配置	人員配置は過不足なく適切に行われたか	A
	有資格者の配置	必要な有資格者の配置は適切に行われたか	A
	資質向上	職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	受付・接客	接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	平等利用	特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いは適切に行われたか	A
	利用者サービス向上	利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
	広報	利用者への広報は情報提供として適切に行われたか	A
	備品・建物等の管理	備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか	A
	安全対策	利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか	A
	危機管理	緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか	A
	事故・苦情の対応	事故・苦情に対する対応は適切に行われたか	A
	利用の状況	開館日数	開館(日数)は適切に行われたか
開館時間		開館(時間)は適切に行われたか	A
利用人数		利用人数は目標を達成したか	B
平均稼働率		平均稼働率は目標を達成したか	B
事業実施の状況	実施回数	実施回数は目標を達成したか	B
	参加者数	参加者数は目標を達成したか	B
	事業内容	事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか	A
の満足度調査	利用者満足度の把握	アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか	A
	利用者満足度向上	アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか	A
維持管理の状況	清掃(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	清掃(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(日常)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保守点検(定期)	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	保安警備	業務は計画どおり適切に行われたか	A
	修繕等維持管理	修繕等は適切に行われたか	A
収支の状況	利用料金	利用料金は目標を達成したか	B
	利用料金の收受	利用料金の收受は規定の料金を適正に收受するなど適切に行われたか	A
	利用料金の減免	減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか	A
	経費の縮減	経費縮減についての取り組みは適切に行われたか	A
	収入の増加	収入増加についての取り組みは適切に行われたか	B

成果のあった主な取り組み

- 新型コロナウイルス感染防止の対応が続き、地域交流や訪問活動受入が中止や自粛を余儀なくされている中であっても隣接する「つくも保育園」との交流は対面を控え、メッセージカードやお手紙の交換を行い交流を深めることができた。
- 毎月の誕生会、夏祭り、年末の茶話会などでは感染防止対策を十分に行った上で実施した。
- 年二回の防火・防災訓練では、感染防止対策を行った上で、関係者・関係機関の協力を得て行った。
- 新型コロナウイルス感染防止の対策(いわゆる「コロナ禍」)の中、活動自粛などの影響が大きく、外出(利用)を控えられる方や体調を崩されて利用休止・中止される方が多く見られ、利用者数(利用回数)が減少し、利用登録者数も減少した。
- 新型コロナウイルス感染防止の観点から、観桜会・紅葉狩り等の外出行事は、ドライブによる車窓からの鑑賞として実施した。
- 新型コロナウイルス感染拡大の脅威がまだまだ続いている中で、利用者には来所前の検温やマスクの着用、うがい、手指の消毒などをお願いし、飛沫防止用パーティションの設置や、一定時刻での換気などで、多大なストレス(ご迷惑)を掛けている中で、職員は、利用者により良いサービスを提供できるよう心掛け、職員皆で実行した。
- レク活動やアクティビティプログラムは、利用者により楽しんでいただけるよう、職員間で検討・考案しながら実施している効果が表れた。
- 浴室清掃は毎日実施し、計画通り実施できた。
- テーブル等清掃は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、いすひじ掛け、手擦り、ドアノブを含め利用者・職員が触れる箇所をアルコール消毒(清拭)を実施し、センター内新型コロナウイルス感染防止対策を行った。
- 諸物価が高騰し特に電気料金が上昇している中、経費がかかり増しとなったが、他の経費の節約を徹底し、経費額に抑えることが出来た。

主な課題や今後の対応

- 施設内の電気設備・機械設備類は開所以来20年が経過し、修理用部品の枯渇等を理由に修理・修繕ができない物も発生しているため、今後は、日常の点検・管理を重視し、予防的修理等を計画し、費用の抑制を図っていく。
 - 新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた「新しい生活様式」を踏まえ、利用者が安心して利用して貰えるように、感染防止対策を進めていくと共に、基本的な生活様式(手洗い・手指消毒、せきエチケット、こまめな換気、密集・密接・密閉の回避、健康チェック、他)を徹底・周知を行っていく必要がある。
 - 利用者の要望もあることから、買い物外出など新たな行事について、職員の勤務体制をみながら、安全が確保できる状況を確認した上で、検討していきたい。
 - Withコロナを見据えた事業やサービスのあり方を検討し、質の高いサービス提供に努めていく。
 - 利用者は、身体状況や要介護度が多様であり、全員が楽しく過ごすためには、一人ひとりの状況・症状にあったサービス提供が求められている。この様に多様なサービス提供が必要になっていることについて、職員間で検討を重ね、より良いサービスの提供・向上を目指していくと共に、職員確保と資質向上にも努めていく。
 - 機械設備に経年劣化がみられることから、施設の長寿命化を図る上でも大規模点検等の必要性を感じる。
 - 利用者が、一日を楽しく、安全に且つ安心して過ごしてもらえる施設であるために、不具合箇所・故障設備等の修繕・修理は必然であり一刻も早い対処を検討する。
 - 不具合箇所があるままの設備・施設の利用は、設備の誤作動や操作する職員に対し万が一の事故等を誘発しかねない。利用者への安全・安心の確保は、当然の事であり、また、このことは職員にも及ぶことから早急な対処が必要である。
- ★改修・修繕等が必要な設備
- ①空調設備
 - ・開所(平成14年)から使用している機器で、空調能力の低下がみられる。部品枯渇を理由に修理が不可能とされる。
 - ②正面玄関自動ドア
 - ・保守点検を委託している。装置全体に経年劣化が見られ、故障の危険度が毎年上がっている。
 - ③畳
 - ・畳表の擦れ、劣化が多く見られる。
 - ④調理器具、調理室設備
 - ⑤センター内照明器具(LEDへの改修)
- 今後も更なる物価高騰が想定される。新しい生活様式を取入れ、快適で安全安心なセンターを確保し、たくさんの利用者を迎えるため、適正な経費支出を心掛ける。

評価コメント

(管理運営の状況について)自治体や隣接する保育園等との交流に力を入れ事業を実施している。防災・防火訓練においても、地域と連携して取り組んでいる。

(利用状況について)利用人数や平均稼働率について、目標値に届かなかったものの、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターと連携し、コロナ対策を講じながら見学や体験利用を進めたり、また、空き情報を公開するなどして新規利用者の確保に努めている。

(施設管理の状況について)施設の老朽化を踏まえ、日常的に設備や機械の点検を行うことで、予防的修理等の計画に つなげている。

(収支の状況について)利用者数等が前年に比べ減少したものの、介護度の高い人の受入を増やすなど要介護者の在宅生活支援を進め、結果として平均利用単価を上げるような取り組みを行い、利用料金収入の減少幅を抑えるよう努力している。

引き続き利用者及びその家族と職員との継続的な信頼関係に基づいた施設運営を期待している。